

# 平成30年度 決算報告

平成30年度決算が、令和元年9月定例町議会で承認されました。

決算は私たちが納めた税金が、まちづくりや暮らしのなかで、どのように活かされてきたのかをまとめたものです。平成30年度はどのようなことに町のお金を使ったのかを報告します。

問合せ▶ 役場企画財政課財政係

☎ 049 (295) 2112 ㊟ 324

## 一般会計

### 一般会計歳入（入ったお金）

97億7,570万4千円

(単位/千円)

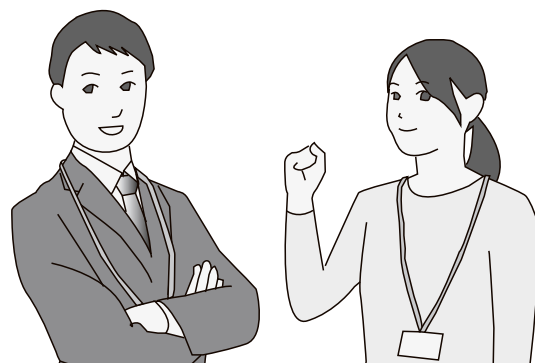
項目		30年度決算	前年度増減額	
自主財源	町税	35億4,247万0	△6,312万9	
	繰越金	3億5,165万0	2,457万6	
	繰入金	5億2,110万4	5,418万4	
	その他	分担金及び負担金	9,647万4	△325万6
		使用料及び手数料	6,275万1	△390万6
		財産収入	1,000万9	△396万8
		寄附金	867万6	3万1
		諸収入	1億1,030万7	1,362万2
	依存財源	地方交付税	20億4,810万0	175万7
国庫支出金		8億4,806万6	△2億2,372万8	
町債		5億9,420万9	△9,310万9	
県支出金		地方消費税交付金	6億2,995万1	6,914万1
		地方譲与税	9,660万8	110万6
		地方特例交付金	1,797万1	216万9
その他		自動車取得税交付金	4,109万9	149万8
		ゴルフ場利用税交付金	4,974万8	△418万3
		利子割交付金	584万3	△11万4
		株式等譲渡所得割交付金	1,474万3	△742万8
		配当割交付金	1,614万4	△423万6
		国有提供施設等所在市町村助成交付金	290万1	14万6
		交通安全対策特別交付金	431万2	△18万1
		合計	97億7,570万4	△2億2,053万4

### 一般会計歳出（使ったお金）

94億160万4千円

(単位/千円)

項目		30年度決算	前年度増減額	
民生費	民生費	35億2,605万3	△1億1,244万2	
	教育費	10億2,080万9	△9,919万6	
	総務費	11億7,643万4	1,484万4	
	土木費	7億3,914万1	△1億4,391万4	
	公債費	9億3,126万4	1億7,333万3	
	衛生費	7億5,073万2	2,227万7	
	消防費	6億1,620万1	281万1	
	農林水産業費	2億868万9	△28万7	
	その他	議会費	1億934万1	△78万9
		商工費	5,662万3	276万4
		労働費	3,003万2	0
		災害復旧費	0	0
		諸支出金	2億3,628万5	△1億238万6
	合計	94億160万4	△2億4,298万5	



## 特別会計

町の会計は、「一般会計」と「特別会計」に分けられています。

一般会計は、特別会計に属さない財政を包括的、一般的に経理する会計。特別会計は、特別な財源を特定の支出に充てて経理を行うものです。毛呂山町の特別会計には国民健康保険・農業集落排水事業・介護保険・後期高齢者医療と、企業会計である水道事業会計があります。

平成30年度

### 特別会計歳出入・企業会計収支

(単位/千円)

区分	歳入(収入)	歳出(支出)	差引額	
国民健康保険	45億969万8	43億8,683万0	1億2,286万8	
農業集落排水事業	3,550万1	3,266万2	283万9	
介護保険	22億9,888万7	21億9,760万1	1億128万6	
後期高齢者医療	4億903万2	4億155万9	747万3	
水道事業	収益的収支	7億7,686万7	7億2,329万8	5,356万9
	資本的収支	1億1,454万6	4億2,189万0	△3億734万4

# 平成30年度の 主な事業

## 自然と共生した安全で快適なまちづくり

美しい景観づくりや水辺環境の創造を進め、また、防災対策の充実をはじめとし、防犯活動や交通安全などを住民と協働して推進し、環境に配慮した快適な生活の実現を支援しました。

埼玉西部環境保全組合負担金	3億9,265万6千円
旭台団地側溝修繕工事	1,620万9千円
毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合負担金	4億945万1千円

## 住民と行政の協働によるまちづくり

住民が正確な情報を共有し、隣近所で活発な住民活動が展開でき、さらに男女共同参画や住民の交流活動を促進し、簡素で効率的な行政財政運営や広域的なまちづくりを推進しました。

コミュニティ協議会補助金	181万円
広報等印刷事業	556万3千円
区運営費補助金	439万1千円

## 元気に仕事ができるまちづくり

住民が元気に仕事ができるまちづくりのために、農林業、観光、商工業の振興支援を実施しました。

農道用排水路等整備事業	1,290万6千円
観光事業	1,872万8千円
商工会補助金	754万円

## 健康で安心して暮らせるまちづくり

地域における支え合いを基盤として、一人ひとりに対応できるきめ細やかな健康づくり活動や、少子高齢社会などに対応する福祉活動を支援しました。

こども医療費	8,494万3千円
児童手当	4億2,991万円
介護給付費・訓練等給付費	4億9,148万円

## 学びを未来に活かすまちづくり

生涯学習の支援や、一人ひとりに応じた教育の充実を図るため、家庭、地域、幼稚園、保育園、小学校、中学校間の連携と、本町ならではの特色ある教育を推進しました。

毛呂山中学校体育館改修工事	1億3,729万8千円
小学校体育館非構造部材落下防止対策工事	2,963万2千円
図書館空調設備改修工事	2,365万2千円

なお、町民1人あたりに使われたお金は、27万8,442円でした

※一般会計より。平成31年3月31日現在の人口3万3,765人で計算

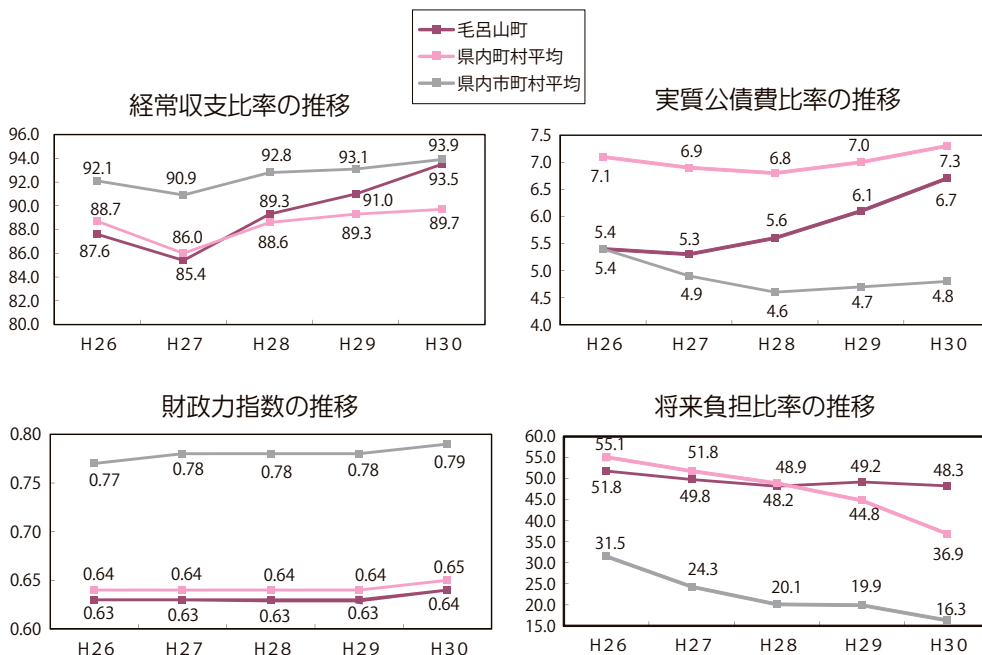
## 健全化判断比率

平成19年度決算から財政健全化法に基づき「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標の公表が義務づけられました。毛呂山町の健全化判断比率は、いずれの指標も早期健全化基準を下回り、数値的にも健全性を示しています。

平成30年度健全化判断比率 (単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
毛呂山町	—	—	6.7	48.3
早期健全化基準	14.17	19.17	25.0	350.0

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字の場合は算定しません。



## 用語解説

### 経常収支比率

財政構造の弾力性を測定する比率。この比率は、経常一般財源（毎年度経常的に収入される財源）のうち、義務的性格の経常経費（人件費や扶助費のように毎年度経常的に支出される経費）に充当されたものが占める割合。80%を超えると弾力性を失いつつあると考えられている。

### 財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指数。財政力指数が単年度で1を超える場合には、自立して財政運営ができることを示し、普通交付税の不交付団体となる。財政力指数が1に近いほど、自主財源の割合が高いことを示し、財源に余裕があることになる。

### 実質公債費比率

町の借入金返済額（元金や利息）などの財政負担の大きさを表す比率。

### 将来負担比率

借入金の残金など、町が将来支払わなければならない負担の大きさを表す比率。